



▲ 36 事業者が参加した開催日当日は、新型コロナウイルスを吹き飛ばすような晴天に恵まれました。

コロナ禍でもみんなを笑顔に いしおかスマッチ フリーマーケットを開催

10月25日、常陸風土記の丘の芝生広場を会場に「いしおかスマッチフリーマーケット」が開催されました。

新型コロナウイルス感染症への万全の対策が取られる中、多くの来場者が訪れました。主催した石岡商工会議所青年部の田崎会長は「やっぱり地域のイベントはいいな」と話してくれました。

関東大会出場を報告 石岡アSEMBルF Cが 市長を表敬訪問

11月2日、高円宮杯（U-15）サッカー選手権大会で、茨城県代表として関東大会への出場を決めた石岡アSEMBルフットボールクラブの選手たちが、石岡市役所を訪れました。

大会に向けた思いを力強く話す選手たちに、谷島市長は「県の代表として市内のクラブが出場することは非常にうれしい。一丸となって応援したい」とエールを送りました。



▲チームを代表して訪れた、市内出身の石橋尚士くん・小林麗央くん・遠藤翔大くん・立花大珠くん・岩崎優人くん（順不同）。



▲オレンジリボン子ども虐待防止の象徴。「子どもを守ろう」を合言葉に、4つの起点から県庁を目指しました。

「子ども虐待防止」を呼びかけ 子どもを守ろう！ オレンジリボンたすきリレー

11月6日、子ども虐待防止の啓発を目的として、オレンジ色のたすきをつなぐ「子どもを守ろう！オレンジリボンたすきリレー 2020」が行われました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、車でポイント間を移動しながらたすきのリレーを行い、子どもの虐待防止と社会的養護の理解のための啓発活動を行いました。



▲今年マル園柿出荷組合が担当しました。選ばれた柿は桐箱に詰められ、新型コロナウイルス感染防止のため、宅配便で献上されました。

市の特産品を皇室に献上 献上富有柿の最終審査会 を開催

11月18日、八郷地区の3つの柿出荷組合（マル園柿出荷組合、JAやさと柿部会、十三塚柿出荷組合）で構成する「石岡市八郷柿振興協議会」が、皇室に献上する富有柿の最終審査会を開催しました。

振興協議会の上田会長は「天候不順で大きく育たない中、立派な柿を生産してくれた皆さんに感謝したい」と話してくれました。

国府中ふるさと学習 恋瀬川で「ゴミ0(ゼロ)作戦」

11月中旬、国府中学校の生徒が、恋瀬川の河川敷約1kmの清掃活動を行いました。

現在の3年生6名が代表として参加した「世界湖沼会議」をきっかけに始まったこの活動も、今年が3年目。最後の活動を終えた3年生の生徒は「これからもゴミを見つけたら拾って、本当の『ゴミ0』を目指しましょう!」と話してくれました。



▲一昨年は1年生のみで行われた活動も、3年目の今年は全学年で行われました。恋瀬川をきれいにする取り組みが、次の代へと受け継がれています。



▲笑顔の子どもたちの後ろでCanto_Orienteのメンバーもっこり。「みんなと演奏できて楽しかった。このような機会を作ってくれたことに感謝したい」と話してくれました。

北小児童が音楽と触れ合う ふれあい祭を開催

11月20日、北小学校の全校児童34名が参加するオンライン演奏会「ふれあい祭」が開催されました。

音楽家Canto_Orienteのメンバー5人と共に演奏する子どもたちの姿は、テレビ会議システムを使って、保護者や地域の方々に生配信されました。

参加した児童は「みんなと楽しく演奏できてよかった。これからもみんなで協力して過ごしていきたい」と話してくれました。